

# みんなで考えよう 門真市財政のこれから

2009年5月23日  
門真市南部市民センター

主催：大阪社会保障推進協議会  
北河内地域各社会保障推進協議会



社団法人大阪自治体問題研究所 初村尤而

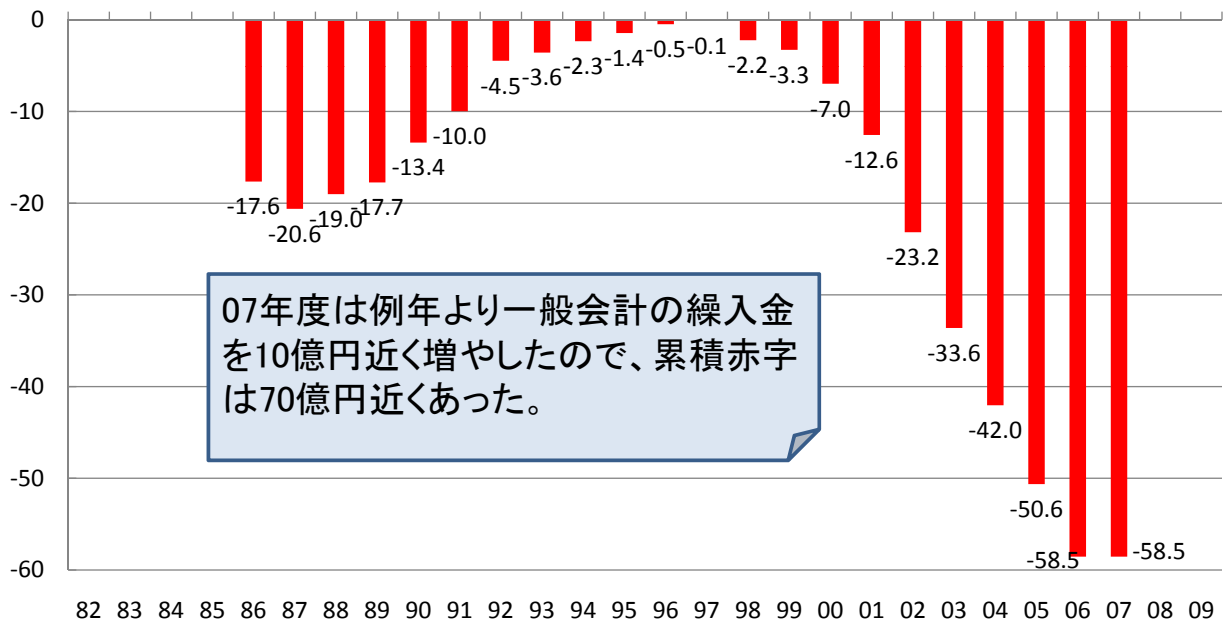
## にわかに国保財政が注目 厄介者になるそのわけ

- 1. 国保財政の急激な悪化
- 2. 市財政本体も危機、国保を救済する体力がない
- 3. 地方財政健全化法で、国保財政の危機を隠せなくなった

# 国保財政の急激な悪化

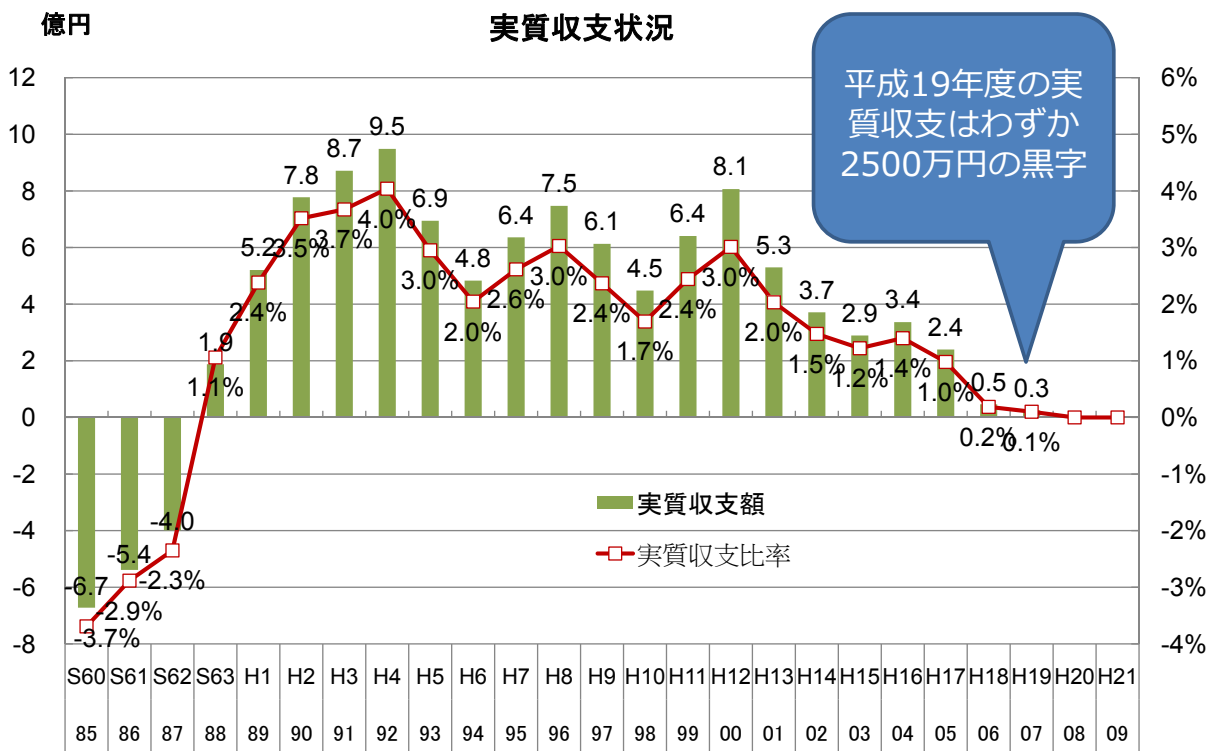
単位:億円

門真市国保事業会計実質収支(累積赤字)推移



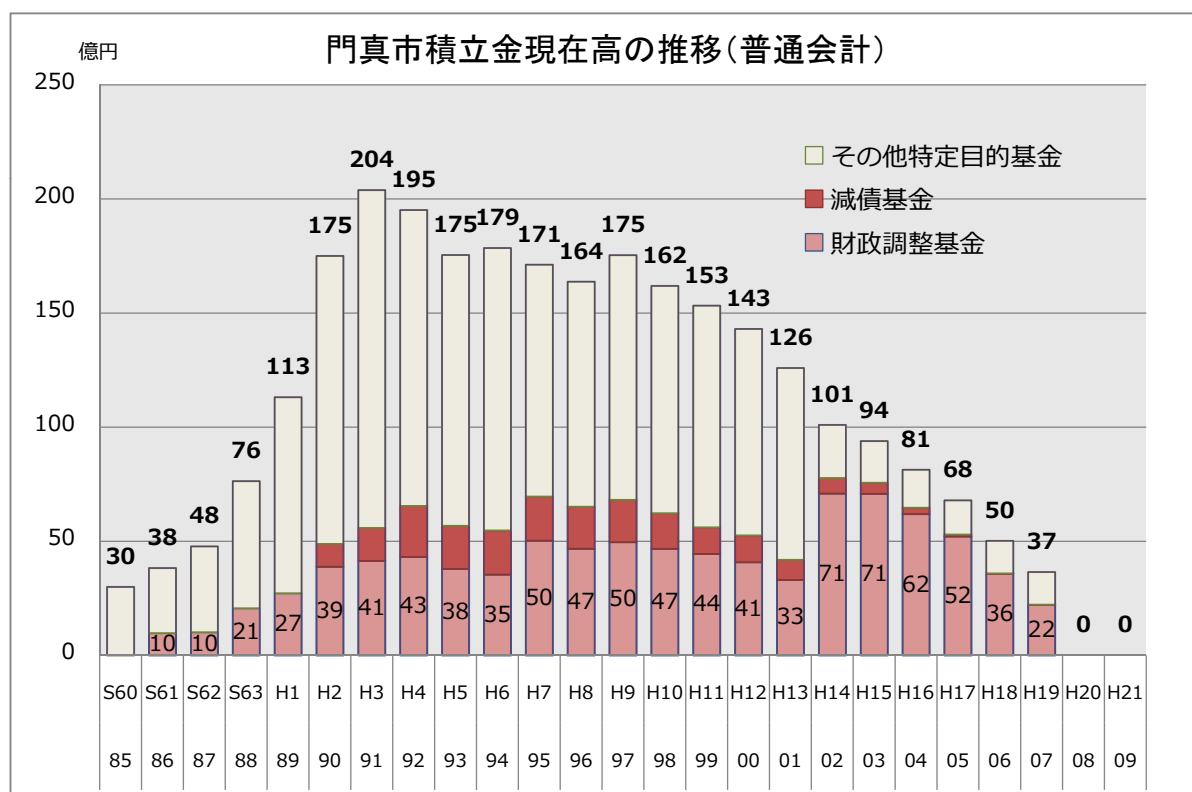
## 市財政本体の悪化(1)

～黒字だがわずか～



## 市財政本体の悪化(2)

～積立金の枯渇～



## 市財政本体の悪化(3)

～経常収支が赤字に～

経常収支とは基本的収支で、経常収支比率で表す  
 経常収支比率は、財政のエンゲル係数といわれる  
 経常収支比率(%)

＝経常経費充当一般財源 ÷ 経常一般財源

経常経費充当一般財源(275億円)

内訳: 人件費75億円、物件費45億円、扶助費37億円、公債費50億円、繰出金38億円、補助費等27億円

経常一般財源(270億円)

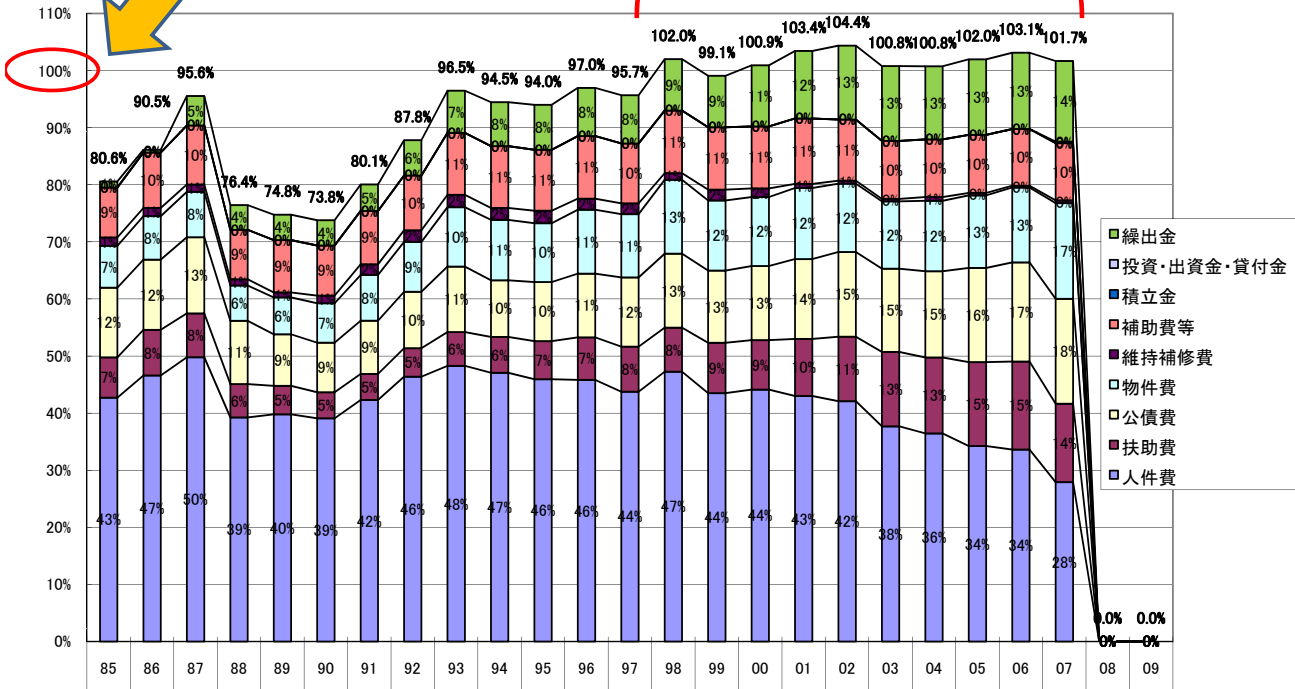
内訳: 地方税182億円、地方交付税49億円、  
 100%を超えると赤字。H19年度の門真市は101.7%

# 市財政本体の悪化(4)

～経常収支が赤字に～

この10年間で、ほとんど100%を超えている

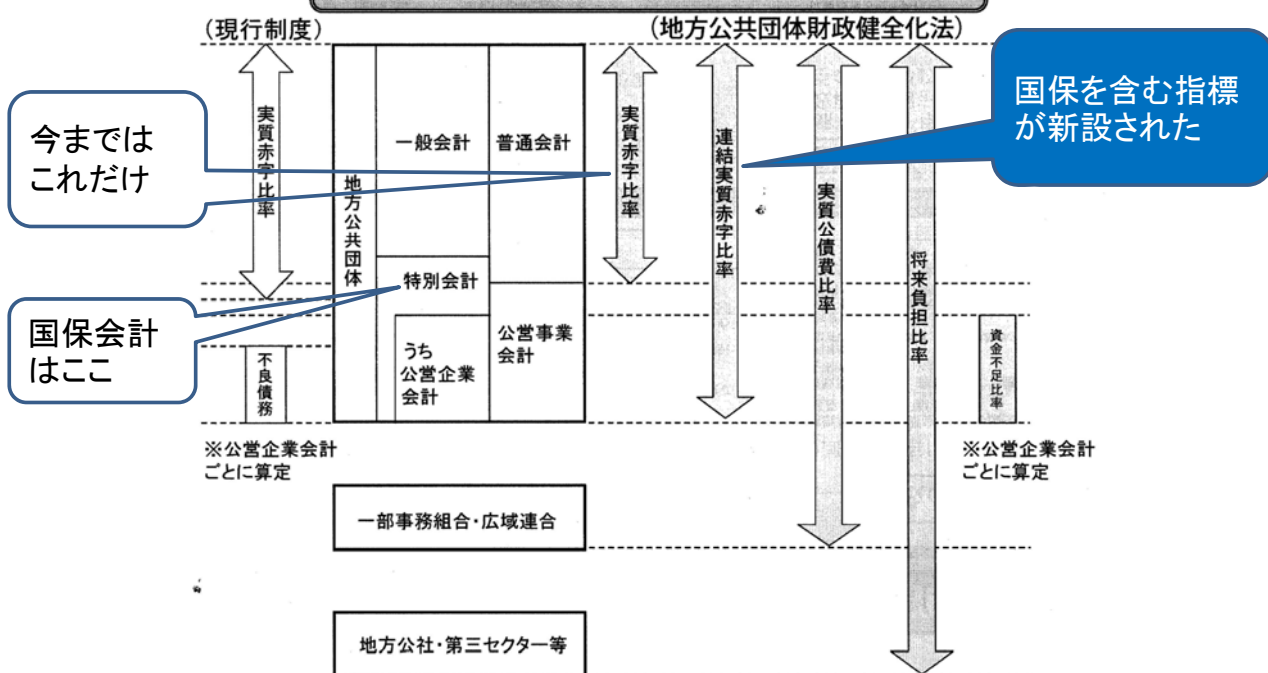
経常収支比率の推移



# 財政健全化法のしくみ(1)

国保の赤字を隠せなくする

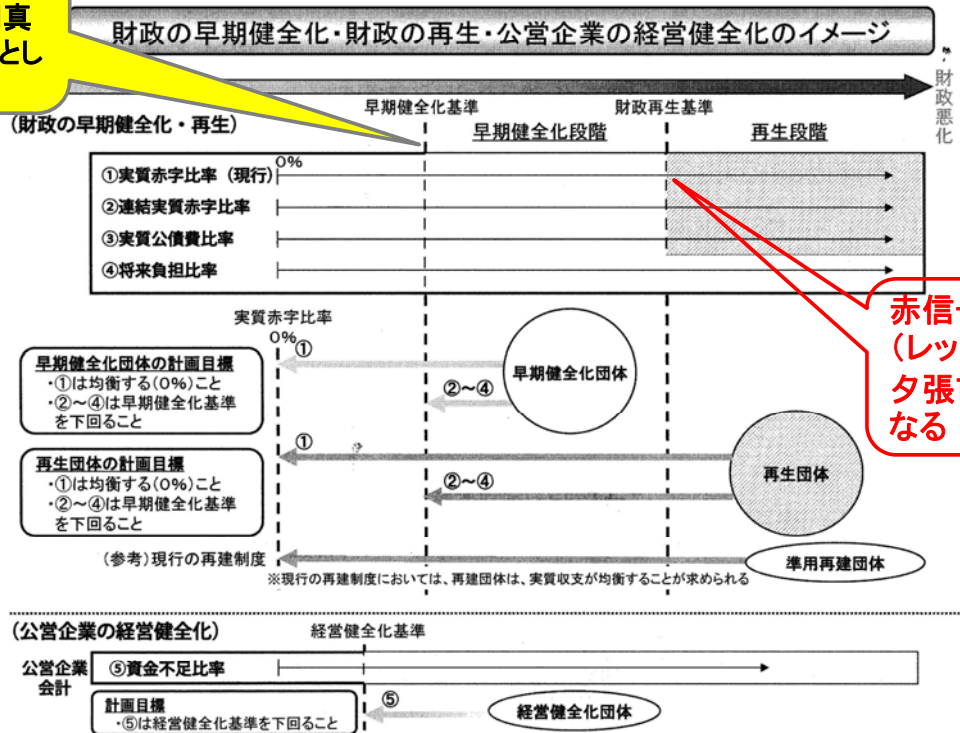
## 健全化判断比率等の対象について



# 財政健全化法のしくみ(2)

国保の赤字を隠せなくする

黄色の信号がともる(レッドカード)。門真市がひよっとして。



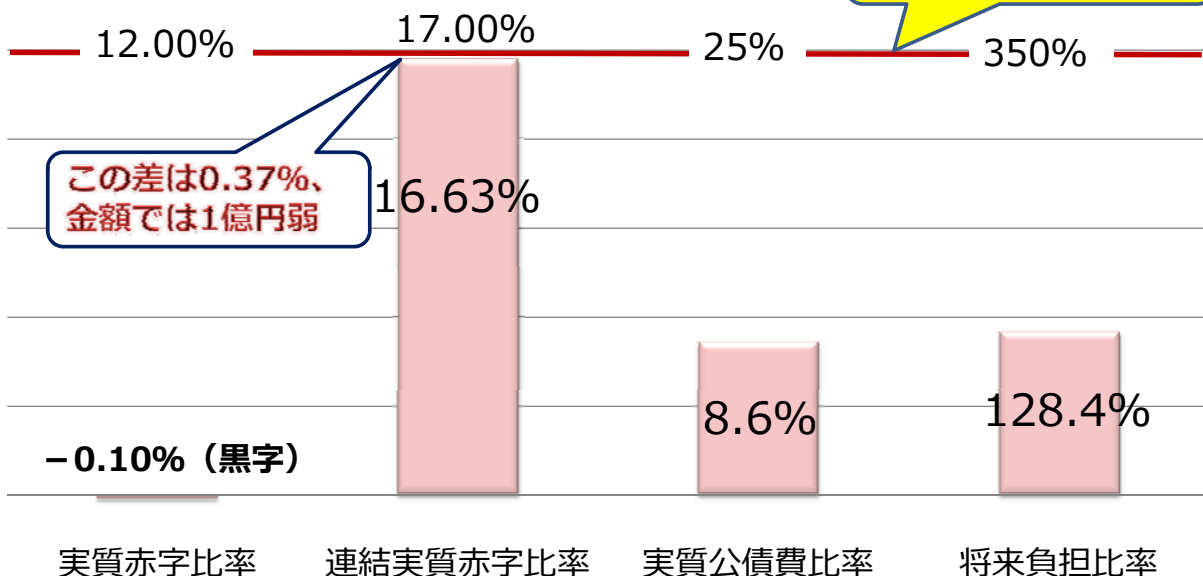
赤信号がともる(レッドカード) 夕張市クラスとなる

# 財政健全化法のしくみ(3)

市財政への影響ー連結実質赤字比率が基準スレスレに

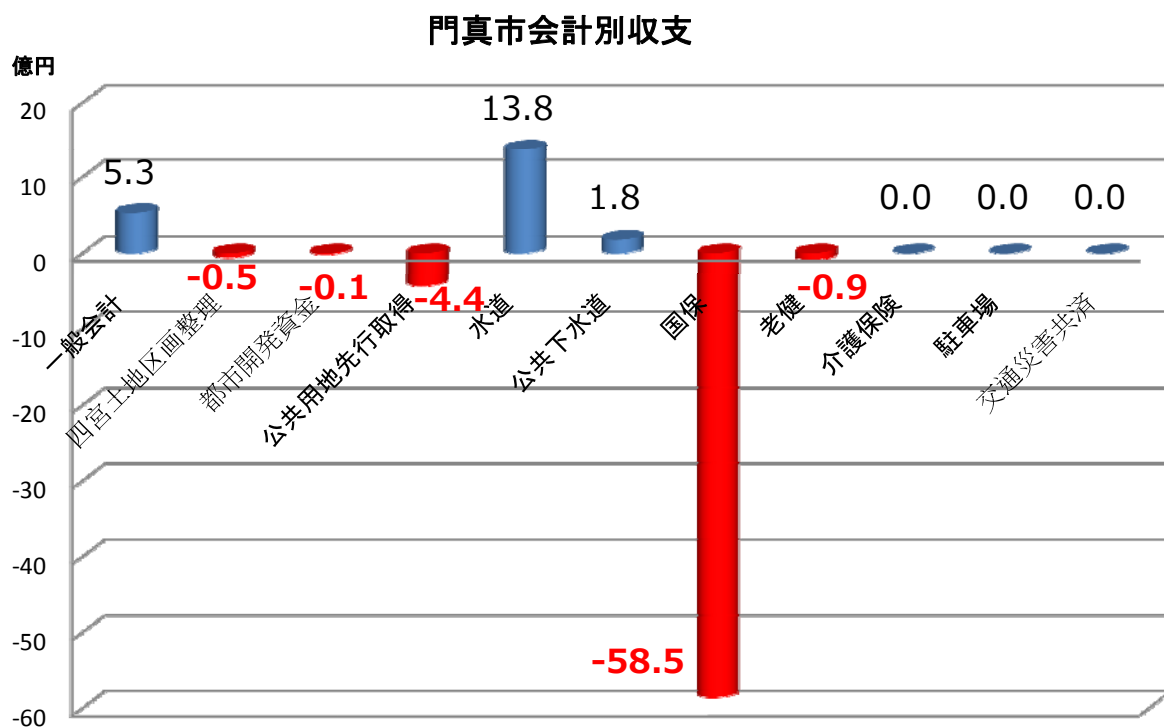
門真市財政健全化法による4指標の状況

早期健全化基準 (黄信号・イエローカード)



# 財政健全化法のしくみ(4)

市財政への影響－国保の赤字が指標を「悪く」している



## 市の取り組み(1)

H20年3月『財政健全化計画<第1次改訂版>』

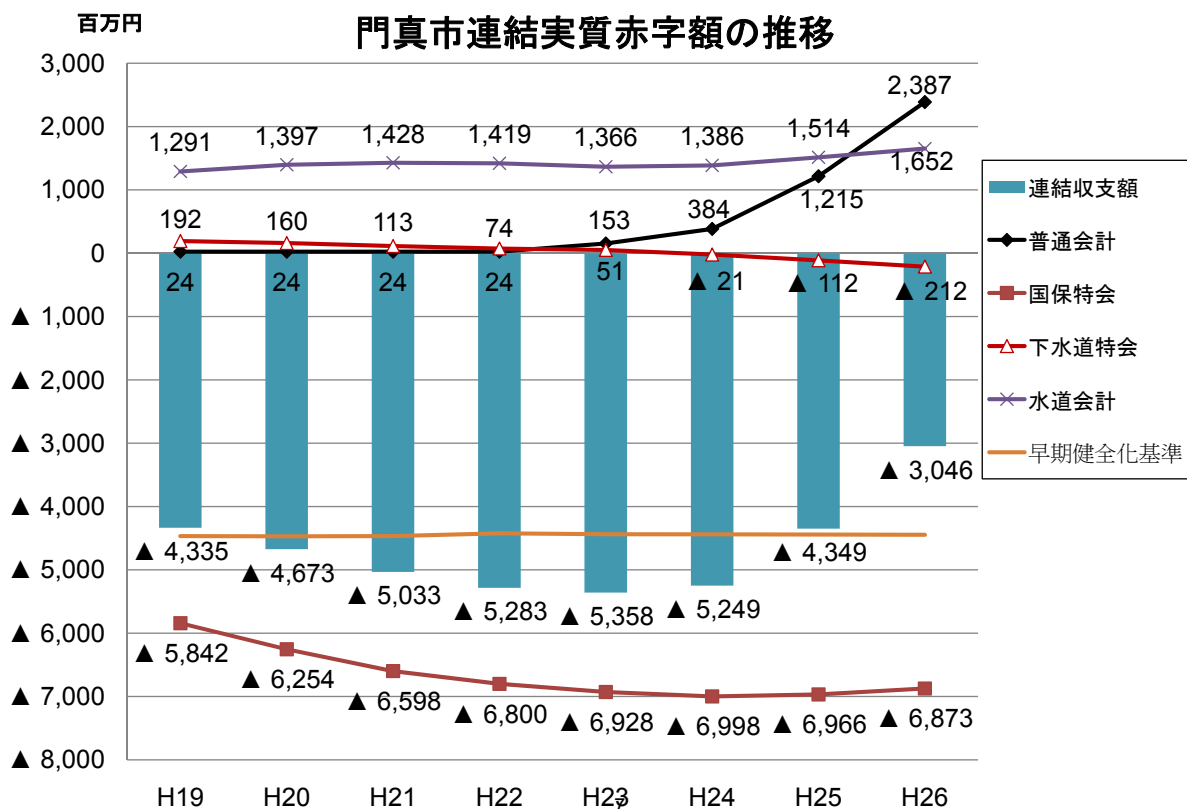
- ① 行財政改革推進計画編  
(第2次行財政改革推進計画)
- ② 緊急財政改善計画編
- ③ 国民健康保険事業特別会計改善計画編

# 市の取り組み(2)

単位:百万円

|        | 平成 19 年度 | 平成 20 年度 | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 |
|--------|----------|----------|----------|----------|
| 標準財政規模 | 26,284   | 26,300   | 26,281   | 26,017   |
| 普通会計   | 24       | 24       | 24       | 24       |
| 国保特会   | ▲5,842   | ▲6,254   | ▲6,598   | ▲6,800   |
| 下水道特会  | 192      | 160      | 113      | 74       |
| 水道会計   | 1,291    | 1,397    | 1,428    | 1,419    |
| 連結収支額  | ▲4,335   | ▲4,673   | ▲5,033   | ▲5,283   |
|        | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
| 標準財政規模 | 26,096   | 26,109   | 26,129   | 26,153   |
| 普通会計   | 153      | 384      | 1,215    | 2,387    |
| 国保特会   | ▲6,928   | ▲6,998   | ▲6,966   | ▲6,873   |
| 下水道特会  | 51       | ▲21      | ▲112     | ▲212     |
| 水道会計   | 1,366    | 1,386    | 1,514    | 1,652    |
| 連結収支額  | ▲5,358   | ▲5,249   | ▲4,349   | ▲3,046   |

# 市の取り組み(3)



## 市の取り組み(4)

### 緊急財政改善計画編の追加実施(その1)

- 早期健全化団体指定の回避と、財政健全化
- 国保会計の単年度黒字、累積赤字の計画的削減
- そのために、一般会計から国保会計への繰り出しを実施
- 国保の単年度黒字は、国保の一時借入金利息(約1億円)を減少する効果がある。

## 市の取り組み(5)

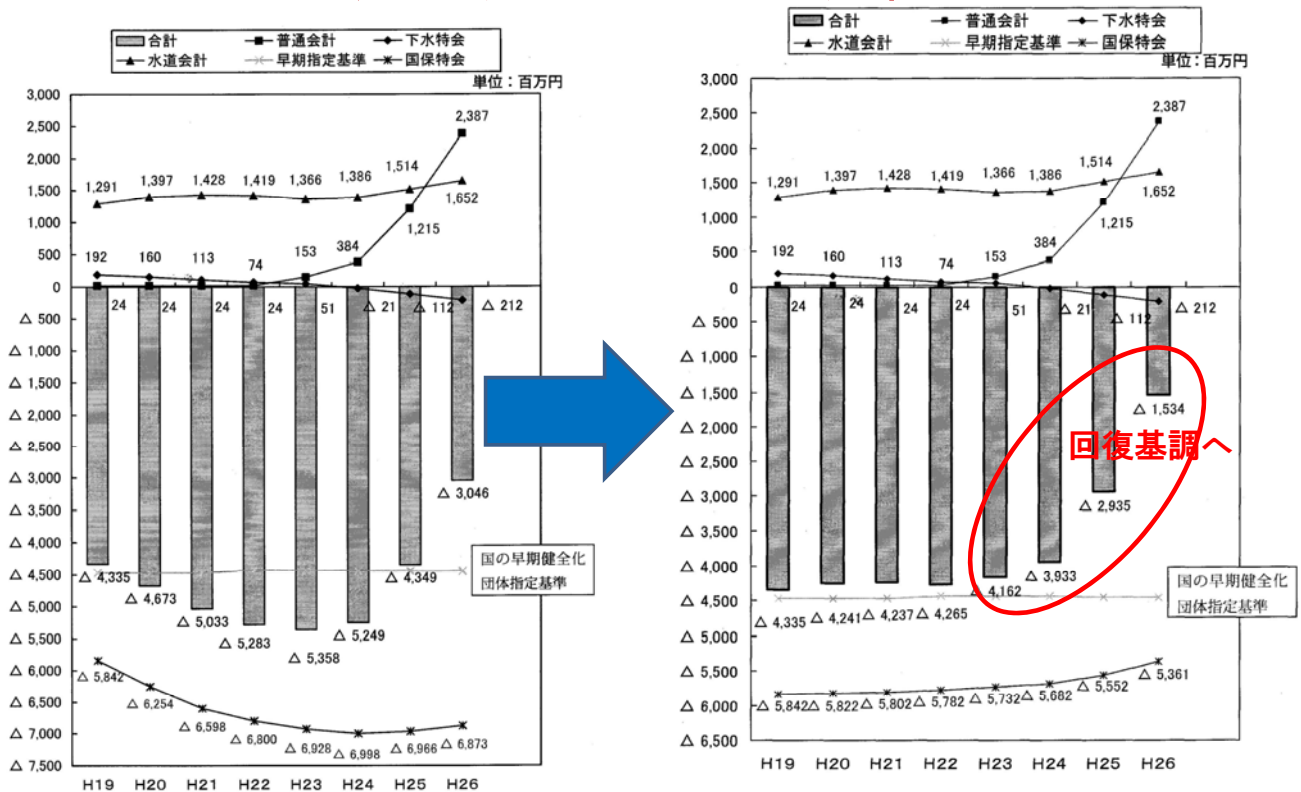
### 緊急財政改善計画編の追加実施(その2)

- 繰り出し財源として基金を確保。そのために財政調整基金の枯渇を防ぐ。
- H20~22の3年間を収支均衡予算期間とし、さらに歳出を毎年約3億円を抑制
- 歳出削減策
  - ①緊急的に人件費を含む経常経費のさらなるカット
  - ②事業経費の削減・合理化等など



# 市の取り組み(6)

## 財政健全化による効果



# 市の取り組み(7)

## 市の取り組みの問題点

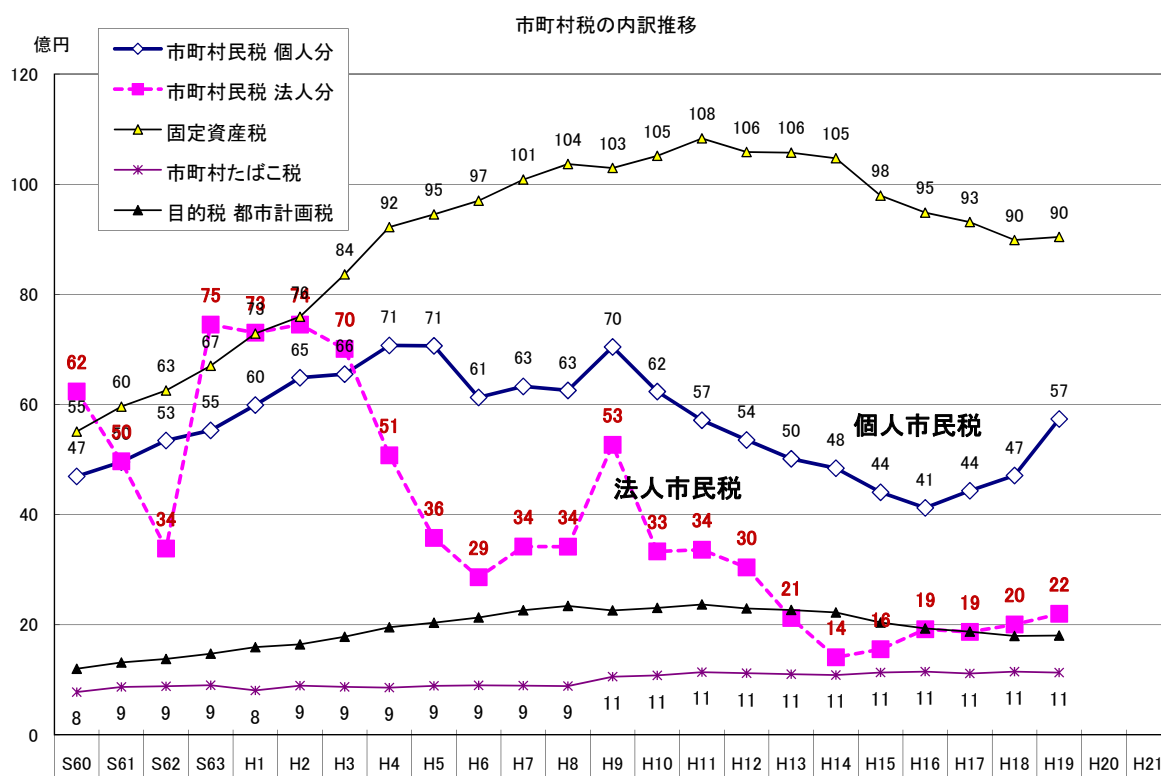
- 地方財政制度や政策への批判の視点がない
- 財政の健全化を人件費や住民サービスの削減に安易に求めている。
- 門真市の街づくりプランがなく、「財政健全化」のあとにどんな町ができるのか、展望がない。
- 住民とともに財政危機を打開しようという参加の視点がない。

# 門真市財政を市民主体で健全化する

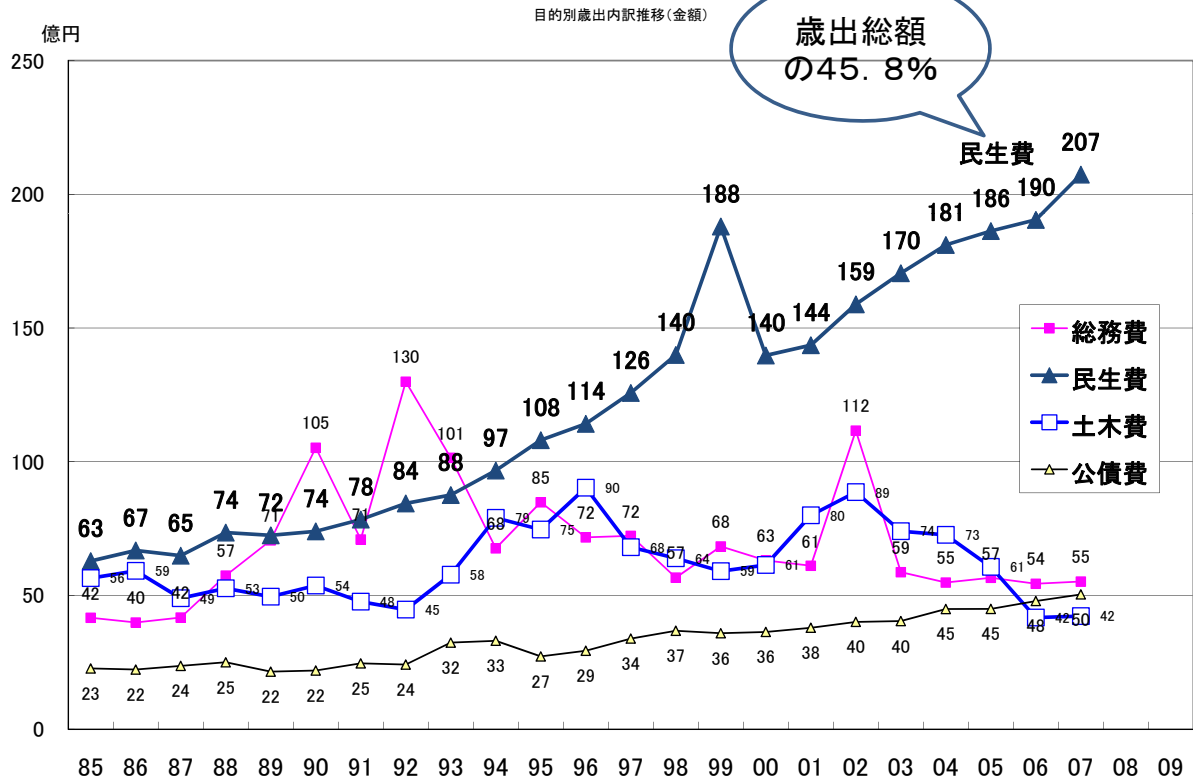
## 門真市財政悪化の要因

- 1. 法人市民税に依存する財源構造の限界
- 2. 無秩序な街づくりの「負の遺産」、生活困難、少子・高齢者など地域社会の変化から生まれる避けられない歳出の増加
- 3. 都市公園の整備、老人福祉施設の拡充、保育園・幼稚園の整備、下水道の整備など、安心・安瀨の街づくりへの潜在的な需要
- 4. 「三位一体の改革」、小さな政府、構造改革による財源保障の後退

## 法人市民税依存の限界



# 福祉経費の増大



## 門真市民の要望 (住民アンケート)

# 門真市財政をどうすれば改善するのか、市民の課題でもある

- 市財政をよくするのは市民全体の課題
- 市財政を悪くした市の責任も大きいですが、かといって任せておいてすむ話ではない。
- 市民が財政をもっと考え、発言しなくてはならない。

## これまで提案されてきたこと(1)

### 『生きづくまち』(1994年7月)

#### ――総合的まちづくりのための財政政策

- ①企業城下町型財政から自立的地域経済構築のための財政への転換
- ②「通過都市」の汚名を返上し、「定住都市」への転換をめざす
- ③開発指向型財政から生活基盤充実財政への転換

## これまで提案されてきたこと(2)

### 『しのびよる財政危機』(2000年11月)――成熟型財政運営

- ①公的責任を明確にして市民サービスの充実を図る
- ②都市基盤や都市環境の総合的・毛計画的整備を図る。財源確保を計画的に図る
- ③地域経済の活性化と雇用の確保、市民所得の向上と生活の安定化
- ④行財政運営における市民参加と「社会的効率」の追求。分権と参加。

## これまで提案されてきたこと(3)

### 『自立・定住都市かどま』(2003年3月)――自主的・自立的行財政運営

- ①後追い型行政から政策遂行型行政への転換
- ②大規模開発主義から脱却し、計画的に都市生活基盤整備を進める
- ③縦割り行政から脱却し、総合行政への転換を図る
- ④市民参加を促進し、行政とNPOなどとの協働を進める

## 21世紀になって変わったこと

- 2001年骨太方針以来、構造改革が自治体にも押しよせた。小さな政府による財源削減
- 新自由主義的行政運営(NPM)による行政のアウトソーシング(市場化・民営化)。行財政運営を企業的手法で変質
- 世界同時不況、新自由主義の破局。にもかかわらず自治体の現場ではアウトソーシングが止まらず

## 第2部

### 国民健康保険会計の改善

# 門真市国保の現状

(2007年度決算統計)

- 被保険者数 54,717人(加入率41.9%)
- 世帯数 30,187世帯(加入率50.5%)
- 保険料収入額 1人あたり 76,257円
- 国庫支出金 1人あたり 83,802円
- 保険給付費 1人あたり 190,539円
- 累積赤字額 1人あたり 106,996円

## 門真市国保の現状